

平成 29 年度
事業報告および収支決算

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

一般社団法人 練馬区産業振興公社

一般社団法人練馬区産業振興公社の平成 29 年度事業報告および収支決算は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第 123 条第 2 項および「一般社団法人練馬区産業振興公社定款」第 39 条の規定に基づき、作成します。

目 次

I 法人概要および組織	2
1 設立目的	
2 実施状況	
3 沿革	
4 基金	
5 組織	
II 平成 29 年度の事業の実施状況	
1 練馬区内の中小企業の経営支援および産業振興に関する事業	4
(練馬ビジネスサポートセンターの運営)	
(1) 各種相談	
(2) セミナー、商談会等の開催	
(3) 各種補助金の交付	
(4) 情報提供	
(5) 利用者アンケートの実施	
2 練馬区立区民・産業プラザの維持運営	8
(1) 利用状況	
(2) ケータリング等提携サービスの実施	
(3) 自動販売機の設置	
(4) 利用者アンケートの実施	

3	中小企業に働く勤労者および事業主のための福祉共済事業	12
	(ねりまファミリーパック)	
	(1) 生活充実事業	
	(2) 健康増進事業	
	(3) 自己啓発事業	
	(4) 余暇活動事業	
	(5) その他	
4	地域経済活性化のための観光振興事業	16
	(ねりま観光センターの運営)	
	(1) 観光商品の開発・支援に関する事業	
	(2) 観光情報の受発信に関する事業	
	(3) 参加・体験型事業	
	(4) 観光資源の調査・研究に関する事業	
	(5) 観光事業への協賛・後援に関する事業	
	(6) 観光案内所運営事業	
5	法人の目的を達成するため実施する事業	20
	(1) 高齢者いきいき健康事業	
6	社員総会および理事会の開催、監査の実施ならびに 共済事業運営委員会の開催	21
Ⅲ	平成 29 年度収支決算	
1	貸借対照表	26
2	財産目録	27
3	財産目録の内訳書	28
4	正味財産増減計算書	32
5	一般会計収支計算書	36

I 法人概要および組織

1 設立目的

練馬区の商業、工業、農業および観光の分野における産業振興に関する事業ならびに勤労者の福祉共済に関する事業を総合的に実施することにより、中小企業の経営の安定と発展に貢献し、もって区内産業の振興および地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

2 実施事業

設立目的を達成するため、以下の事業を行う。

- (1) 練馬区内の中小企業の経営支援および産業振興に関する事業
- (2) 地域経済活性化のための観光振興に関する事業
- (3) 中小企業に働く勤労者および事業主のための福祉共済事業
- (4) その他目的を達成するために必要な事業

3 沿革

昭和 54 年 2 月 24 日 「練馬区勤労者福祉共済会」として発足する。

平成 13 年 4 月 1 日 「練馬区勤労者福祉共済会」と「練馬区福祉公社」が統合し、「練馬区区民・勤労者福祉サービスセンター」とする。

平成 16 年 4 月 1 日 法人格を取得し、「有限責任中間法人ねりまファミリーパック」とする。

平成 21 年 4 月 1 日 法律の改正により、「一般社団法人ねりまファミリーパック」に名称変更する。

平成 25 年 4 月 1 日 法人改組により、「一般社団法人練馬区産業振興公社」とする。

平成 26 年 4 月 14 日 練馬区立区民・産業プラザの指定管理業務開始
練馬ビジネスサポートセンター開設

平成 29 年 4 月 1 日 ねりま観光センター開設

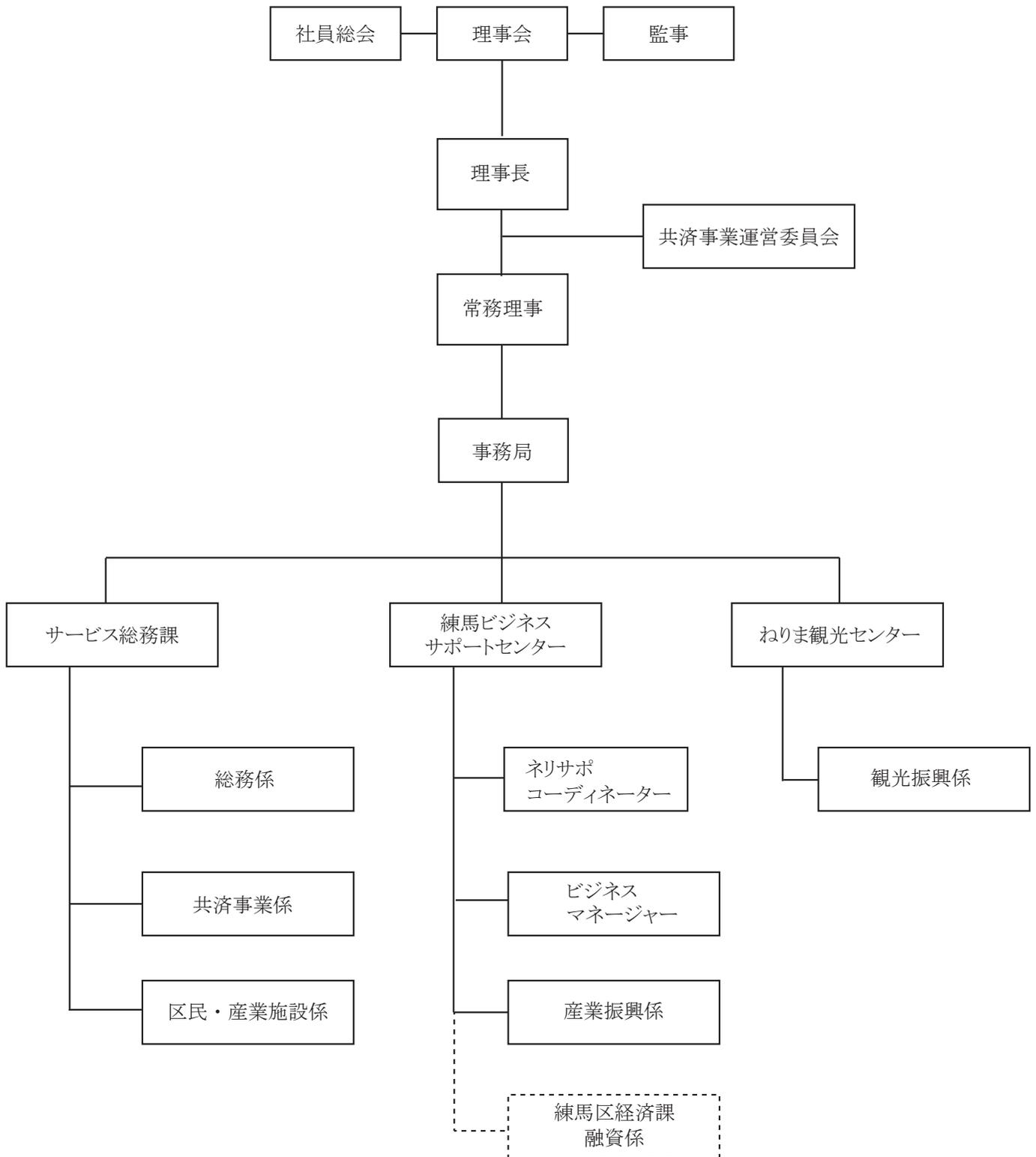
4 基金

9,050 万円（全額を練馬区が出資）

5 組織体制（平成 30 年 3 月 31 日現在）

別紙

一般社団法人練馬区産業振興公社 組織体制



- ・社員 5団体
- ・役員 11名(理事長1名、副理事長1名、常務理事1名、理事6名、監事2名)
- ・職員数 26名(常勤16名、非常勤等8名、ビジネスマネージャー2名)

II 平成 29 年度の事業の実施状況

1 練馬区内の中小企業の経営支援および産業振興に関する事業（定款第 4 条第 1 号）

（練馬ビジネスサポートセンターの運営）

練馬ビジネスサポートセンターは、区内の産業振興と経済の活性化を図るため、中小企業の経営支援と起業・創業の支援に関する事業に取り組んでいます。

平成 29 年度におけるこれらの事業の実施状況は、計画どおりに推移し、成果をあげることができました。この成果を活かし、今年度もさらに発展させていきたいと考えています。

（1）各種相談

専門相談においては、経営に関する法的な相談に対応するため、弁護士による法律相談を開始しました。また、新たに、平日は仕事などで来所できない方等を対象に、社会保険労務士、中小企業診断士および税理士を一同に集め、経営者等の事業上の悩みや課題を解決する合同経営相談会を、日曜日に1回、土曜日に1回開催しました。

事業名		計画数	実施数	相談件数等	備考
総合相談		随時	随時	463 件	ビジネスマネージャー・コーディネーター対応
専門相談	起業・創業	46 回	46 回	340 件	月～金曜
	法律(新規)	24 回	21 回	28 件	第1・第3月曜午前
	労務	51 回	51 回	70 件	火曜午後
	販路拡大・集客	49 回	49 回	205 件	水曜
	経営	50 回	50 回	59 件	木曜午後
	税務	48 回	48 回	117 件	金曜午後
出張相談	総合、起業・創業、 労務、販路拡大・ 集客、経営、税務	84 回	72 回	72 件	総合 37 件、起業・創業 1 件、労務 1 件、販路拡大・ 集客 7 件、経営 7 件、税務 19 件
	経営指導 (企業診断)	70 回	60 回	60 件	融資 27 件、空き店舗 33 件
東京都中小企業振興公社等の 相談機能の利用		延 39 回	3 回 (1 事業者)	3 件 (1 事業者)	
経営支援会議		12 回	3 回	3 件	相談員相互による調整
合同経営 相談会 (新規)	総合、起業・創業、 労務、販路拡大・ 集客、経営、税務	—	2 回	49 件	5/14、9/30 総合 11 件、起業・創業 12 件、労務 5 件、販路 拡大・集客 1 件、経営 10 件、税務 10 件

合 計	473 回	405 回	1,469 件	
平成 28 年度	509 回	422 回	1,220 件	

(2) セミナー、商談会等の開催

起業セミナー(創業！ねりま塾)入門編においては、当日都合により来場できない方にも受講いただけるようインターネット上でライブ配信の試行を行い、春 78 回(ユーストリーム)、秋 95 回(ユーチューブ)の視聴がありました。

なお、中小企業庁の認定を受けて実施した創業！ねりま塾・入門編および実践編は、過去3年に続き4年連続して「創業スクール 10 選」に選ばれるという、全国で2機関しかない評価を受け、「特別賞」として創業スクール選手権で表彰されました。

経営セミナーについては、毎回違ったテーマのセミナーを開催することで、より多くの事業者に対し課題解決のヒントを提供するとともに、情報交換や交流のための場を提供することで、事業者の横のつながりを効果的に促進できるようなセミナー構成としました。

①創業および経営に係るセミナー

事業名		計画数	実施数	受講人数	備考
起業セミナー 創業！ねりま塾	入門編・春	1回	1回	80人	4/16 (ライブ配信有)
	女性編	2回	2回 (1日制)	74人	5/17、5/20
	実践編・春	1回	1回 (6日制)	28人	6/3・10・17・24、 7/1・15
	子ども編	1回	1回	30人	7/29
	入門編・秋	1回	1回	61人	9/9 (ライブ配信有)
	地域創業編	1回	1回 (1日制)	19人	10/1
	実践編・秋	1回	1回 (6日制)	26人	10/21・28、11/4・ 11・18、12/2
経営セミナー(生活関連産業)		8回	10回	41人	5/25
経営セミナー(理念とビジョン)				35人	6/22
経営セミナー(プレゼンテーション)				28人	7/20
経営セミナー(エントリーシート書き方)				19人	7/26
経営セミナー(事業承継①)				11人	9/21
経営セミナー(事業承継②)				5人	10/19
経営セミナー(SNS活用術)				69人	11/30
経営セミナー(商圏調査)				46人	1/25

経営セミナー(事業承継③)			19人	2/21
経営セミナー(補助金)			79人	2/22
合 計	16回	18回	670人	
平成28年度	16回	20回	962人	

※創業！ねりま塾は、東京商工会議所練馬支部、株式会社みずほ銀行、西京信用金庫、芝信用金庫、城北信用金庫、巣鴨信用金庫、西武信用金庫および東京信用金庫との共催事業として実施しました。

※創業！ねりま塾・入門編および実践編は、国の平成29年度潜在的創業者掘り起こし事業(創業スクール事業)として実施しました。

※創業！ねりま塾・子ども編は武蔵大学との共催事業として実施しました。

※経営セミナー(生活関連産業)は、東京都よろず支援拠点との共催事業として実施しました。

②ビジネス・ネット

練馬区産業振興公社が幹事区となり、15社のバイヤー企業を招致し、食品・生活雑貨等関連企業を対象に事前マッチングによる個別商談会を開催しました。また、会場には展示ブースを設置し、32社が商品展示を行いました。

事業名	計画数	実施日	参加企業数	幹事区/会場
周辺区合同商談会	1回	11/16	53社 98商談 (13社 26商談)	練馬区/区民・ 産業プラザ Coconeriホール
平成28年度	1回		75社 151商談 (3社 13商談)	

※カッコ内は練馬区内の参加企業数

(3) 各種補助金の交付

各種補助事業は、練馬区から移管を受けて実施しており、概ね順調に実績が上がっています。

競争力や経営基盤の強化、製品・サービス等の販売促進および創業の促進に寄与する各種補助事業を多くの事業者にご利用していただけるよう、引き続きPRに努めていきたいと考えています。

事業名	計画数	交付数	備考
ホームページ作成費補助事業	35件	35件	補助率:1/2 限度額:4万円
各種認証等取得費補助事業	2件	0件	補助率:1/3 限度額:50万円
見本市等出展費用補助事業	15件	11件	補助率:1/2 限度額:10万円

区内事業者等の連携による製品等開発費補助事業	4件	1件	補助率:1/2 限度額:20万円
商店街空き店舗入居促進事業	30件	28件 ※採択数	【店舗改修費】 補助率: 区内改修事業者への発注:2/3 区外改修事業者への発注:1/2 限度額:100万円 【店舗賃借料】 補助率:2/3 限度額:補助開始月の経過月数に応じて、2～5万円 【経営サポート】 出張相談員(中小企業診断士)が事業開始後、3、6、9、15、25月日に実施
合 計	86件	75件	
平成 28 年度	86件	78件	

(4) 情報提供事業

①産業情報紙の編集・発行

練馬区内の中小企業経営の健全化・近代化の一助となるよう、経営者や従業員にとって有益な情報を提供することを目的として、産業情報紙「neri・made(ネリマデ)」を発行しました。また、ホームページとも連動し、効果的な情報発信を図りました。

②中小企業の景況

四半期ごとに一般社団法人東京都信用金庫協会が実施する「都内中小企業景況調査」の練馬区分データを購入して「練馬区 中小企業の景況」を編集し、ホームページ上に掲載してダウンロードできるようにしました。この「練馬区 中小企業の景況」は、練馬区内の業種別にもまとめており、業種別の景気動向を知るうえで貴重な情報源であると考えております。

(5) 利用者アンケートの実施（概要、詳細はホームページで公表）

練馬ビジネスサポートセンターの機能充実と認知度向上への取り組みを強化するため、毎年度同じ時期にアンケート調査を実施しています。

●実施期間

平成 30 年1月9日(火)から2月5日(月)まで

●実施方法

実施期間中、練馬ビジネスサポートセンターに来所して、相談、融資あっせんを利用した方に、任意でのアンケート協力を依頼して実施。回収は、回収ボックスを設けて行いました。

●回答数

158件(平成 28 年度 133 件)

●実施結果

①融資係利用者のネリサポの相談等の機能の認知について

全 158 件のうち、融資係窓口を利用した 104 件に限定して、練馬ビジネスサポートセンターの

各種相談、セミナー、補助金交付などの機能に対する認知について質問したところ、認知割合は79%(平成28年度75%)でした。

②ネリサポの専門相談の評価

全158件のうち、ネリサポを利用した54件に限定して、相談内容に対する評価を質問したところ、「とても役に立った」とする回答が84%(平成28年度82%)、下位三段階の評価はともに0%でした。

また、相談利用者について、つぎの機会があったときのリピート利用意向についての質問では、リピート意向が高い「とてもそう思う」と「まあそう思う」とする回答のみの結果となり、相談に対する高い評価と連動した結果となっています。

③全体の接遇

ネリサポを利用した54件でネリサポ職員の接遇について評価を求めたところ、「とても良かった」、「良かった」の評価が98%(平成28年度96%)に達し、高い評価を得ています。

2 練馬区立区民・産業プラザの維持運営（定款第4条第1号）

平成26年度から引き続き、区内産業の振興、区民の文化活動と相互交流の促進、地域における公益的な活動の支援等を行うことを目的とする練馬区立区民・産業プラザの指定管理者として、施設の維持運営を行いました。

平成29年度の利用状況は、引き続き利用者登録数の増もあって順調に伸びており、利用率は前年度より2.5ポイント増の79.6%となりました。一方で、利用料金収入は前年度より114万円減の3,117万円となりました。これは、下表の「利用時間数」の内訳のとおり、前年度より、免除と公用等の利用が増加したことによります。

(1) 利用状況

① 利用者登録数 1,697件

② 利用時間数、利用率

施設名		利用可能 延時間(h)	利用時間数 (h)					利用延 時間(h)	利用率 (%)
			通常	減額	免除	公用等	計		
研修室1	全面	7,898	1,226	441	319	879	2,865	6,643	84.1
	研修室1 1/2(東側)		230	44	147	42	463		
	研修室1 1/2(西側)		238	94	90	28	450		
研修室2	全面	7,898	1,359	279	148	396	2,182	6,425	81.3
	研修室2 1/2(東側)		669	237	198	35	1,139		
	研修室2 1/2(西側)		437	145	269	71	922		
研修室3		3,949	1,931	594	327	328	3,180	3,180	80.5
研修室4		3,949	1,710	620	367	320	3,017	3,017	76.4
研修室5		3,949	1,721	555	302	386	2,964	2,964	75.1
産業イベントコーナー		4,667	1,586	468	65	494	2,613	2,613	56.0

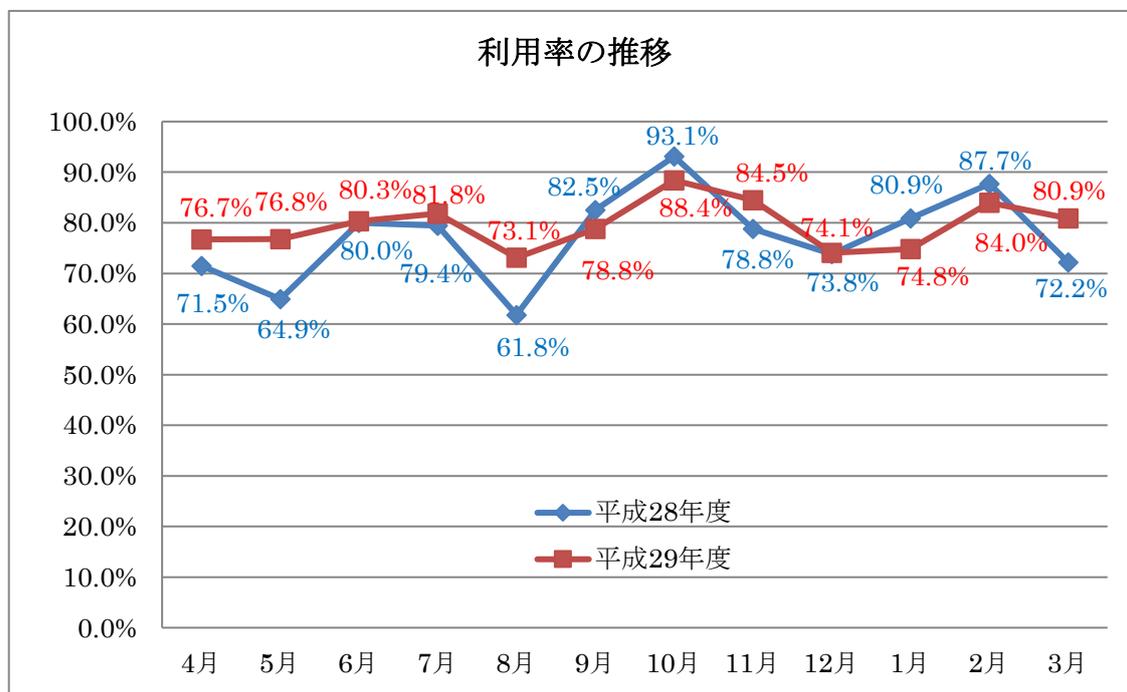
ホール	全面	11,847	1,074	213	564	828	2,679	9,605	81.1
	ホール 2/3(東側+中央)		57	5	24	27	113		
	ホール 2/3(西側+中央)		88	30	42	111	271		
	ホール 1/3(東側)		123	37	124	104	388		
	ホール 1/3(中央)		64	9	20	16	109		
	ホール 1/3(西側)		114	9	153	27	303		
多目的室	全面	7,898	363	320	915	177	1,775	6,967	88.2
	多目的室 1		1,052	267	407	24	1,750		
	多目的室 2		1,025	423	194	25	1,667		
合 計		52,055	15,067	4,790	4,675	4,318	28,850	41,414	79.6
平成 28 年度		52,055	16,570	5,191	3,480	3,477	28,718	40,144	77.1

※1 研修室 1・2 および多目的室の利用可能延時間および利用延時間は、全て半面を利用したものとして換算した時間数。

※2 ホールの利用可能延時間および利用延時間は、全て 1/3 面を利用したものとして換算した時間数。

※3 産業イベントコーナーの利用時間は、1 日 13 時間を利用したものとして換算した時間数。

③ 施設全体の月別利用率の推移



④ 利用料金収入

(円)

施設名		利用料金		
		施設使用料	備品使用料	合計
研修室1	全面	2,169,200	499,800	2,669,000
	研修室1 1/2(東側)	212,000	6,550	218,550
	研修室1 1/2(西側)	227,600	31,300	258,900
研修室2	全面	1,266,700	34,450	1,301,150
	研修室2 1/2(東側)	235,350	4,400	239,750
	研修室2 1/2(西側)	309,000	6,850	315,850
研修室3		1,069,900	26,950	1,096,850
研修室4		992,250	24,500	1,016,750
研修室5		965,350	29,300	994,650
産業イベントコーナー		4,252,800	487,200	4,740,000
ホール	全面	13,146,130	1,515,550	14,661,680
	ホール 2/3(東側+中央)	512,400	38,400	550,800
	ホール 2/3(西側+中央)	808,100	81,000	889,100
	ホール 1/3(東側)	579,000	64,900	643,900
	ホール 1/3(中央)	270,450	35,000	305,450
	ホール 1/3(西側)	503,850	67,400	571,250
多目的室	全面	194,800	10,250	205,050
	多目的室1	235,400	6,700	242,100
	多目的室2	245,500	2,500	248,000
合計		28,195,780	2,973,000	31,168,780
平成28年度		29,254,500	3,054,000	32,308,500

(2) ケータリング等提携サービスの実施

区民・産業プラザを利用する団体等が、飲食を伴う利用を行う場合の利便に供するため、ケータリングおよび仕出しサービスを提供する事業者を有償で登録し、その提供するサービスを紹介するパンフレットを作成して、利用者等に配布しています。

登録事業者を利用すると、施設利用時の鍵の受領・返却は登録事業者が代行するなど、利用者サービスの向上と施設の利用促進を図っています。

11月8日(水)にはケータリングおよび仕出しサービスの利用を促進し、施設の利用率向上を図るため、登録事業者のサービスや利用方法を紹介するイベントを、平成28年度に引き続きホールと産

業イベントコーナーで開催しました。

参加事業者の料理見本の展示やホールおよびイベントコーナーの設営事例の展示に加え、参加事業者が提供している料理の試食を行いました。参加者は 207 名と昨年度より 6 割減となりましたが、平日での開催もあり企業の方の参加が増え、商談が行われるなど利用に結びつくものとなりました。

●登録事業者数 13 社(うち区内事業者 7 社)

(3) 自動販売機の設置

区民・産業プラザの3階および4階のエレベーターホールに、各階2台の自動販売機を設置し、利用者の利便性の向上を図りました。

自動販売機設置事業者からは売上額に応じて、販売手数料を徴収しました。販売手数料額は 122 万円で、平成 28 年度とほぼ同額でした。

●自動販売機設置事業者

ア 3階エレベーターホール

- ・サントリービバレッジサービス株式会社
- ・株式会社伊藤園 練馬支店

イ 4階エレベーターホール

- ・キリンビバレッジ株式会社
- ・東京コカ・コーラボトリング株式会社

(4) 利用者アンケートの実施

区民・産業プラザの利用者を対象に、施設を利用した満足度等について把握するため、毎年度同時期にアンケート調査を実施しています。調査結果は、利用者サービスの向上に活かしております。

●実施期間

平成 30 年 1 月 20 日から平成 30 年 2 月 20 日まで(32 日間)

●回答数

192 件

●アンケート結果

- ・4月1日以降に2回以上利用した割合は、昨年度と比較して 1.9 ポイント増の 94.1%で、このうち3回以上利用した割合は 5.6 ポイント増の 87.8%でした。リピーターの割合が増えるとともに、利用回数も増える傾向にありました。
- ・「施設や備品等の清潔さ」、「職員の対応」、「プラザを利用しての満足度」に対する質問に、「大変良い・良い」、若しくは「大変満足・満足」を選択した割合は、いずれも 95%を超え、大変高い評価を得ました。
- ・利用者の意見では、「予約を取るのが難しくなった」とする回答が昨年度より多く、利用率が伸びているなか、希望する施設の予約が困難となってきた状況が窺えます。

アンケートの集計結果については、区民・産業プラザのホームページおよび区民・産業プラザの掲示板に掲示しています。

3 中小企業に働く勤労者および事業主のための福祉共済事業（定款第4条第3号）

（ねりまファミリーパック）

ねりまファミリーパックは、会員制を採用し、会員相互の支え合いと会員規模の優位性を積極的に活かした事業を展開しています。

会員総数は、前年度末と比べ、事業所会員が35人、個人会員が235人の総計で270人減少し、11,417人になりました。5年連続して退会者数が入会者数を上回り、会員数が減少しました。

退会者の抑制はもちろん入会者を増やすため、これまでの対策の制度を高め、工夫を加えて実施してまいります。

事業所・世帯数と会員数

		平成30年3月末	平成29年3月末	平成28年3月末
会員数 ()内は構成比 単位：人	総数	11,417 (100%)	11,687 (100%)	11,812 (100%)
	事業所	6,151 (53.9%)	6,186 (52.9%)	6,205 (52.5%)
	個人	5,266 (46.1%)	5,501 (47.1%)	5,607 (47.5%)
事業所/世帯数 単位：事業所(所) 個人(世帯)	総数	6,777	7,024	7,093
	事業所	1,844	1,879	1,872
	個人	4,933	5,145	5,221

各事業の実施状況

事業名	計画数 A	実績数 B	達成率 B/A
(1)生活充実事業	31,409人	37,652人	119.9%
(2)健康増進事業	24,470人	23,655人	96.7%
(3)自己啓発事業	24,535人	22,623人	92.2%
(4)余暇活動事業	55,980人	36,636人	65.4%
合計	136,394人	120,566人	88.4%
平成28年度	153,751人	151,975人	98.8%

実績数は前年度と比べ 31,409 人、20.7%減少し、達成率は 10.4%下がりました。
主な原因として、余暇活動事業のうち、「としまえんフリーパス」のあっせん方法の変更があ

り、そのため計画数を大幅に減らしましたが、実績数はそれを上回る減少となりました。あっせん料金の値上げの影響に加え、夏の天候不順が響いたと考えます。

一方で、生活充実事業では、「JA 東京あおば共同事業 300 円クーポン券」の実績数が回を追うごとに伸びています。また、練馬区独立 70 周年を祝い、会報で 5 回にわたり 1,000 円クーポン券合計 700 枚の募集をしたところ、毎回総会員のおよそ 1 割の方 1,350 人から応募をいただき好評を得ました。

※「計画数」「実績数」は、給付金対象者の見込み数、展覧会チケット等のあっせん枚数や人間ドック利用補助券の利用枚数などを人数に換算して事業ごとに合計したものです。

(1) 生活充実事業

①給付事業(計画数 2,229 件 実績数 2,155 件)

会員への祝意や弔意等を示すため、祝金・見舞金・弔慰金を支給しました。

② 生活充実事業

ア 老後生活安定事業

老後生活に役立つ情報を会報 4・5 月号で周知しました。また、中小企業退職金共済制度を会報 6・7 月号で周知しました。

イ 財産形成事業

会員が中央労働金庫の各種ローンを利用できることを、会報 6.7 月号で周知しました。

ウ 講演会を 1 回(計画数 100 人)開催しました。

11月19日(日)「今から考えよう おひとりさまの老後」 実績数81人 達成率81.0%

エ 各種チケットあっせん等

事業名	計画数	実績数
区内共通商品券あっせん	4,600人	4,568人
ジェフグルメカードあっせん	4,000人	3,987人
クオカードあっせん	2,400人	2,015人
マックカードあっせん	1,400人	1,282人
食事券あっせん	2,400人	2,501人
レストラン利用補助	8,880人	6,765人
創立記念事業補助	700人	476人
J A 東京あおば共同事業補助	4,000人	13,176人
練馬区独立70周年記念補助 (当年度限定事業)	700人	646人
計 達成率 121.8%	29,080人	35,416人
平成 28 年度 101.5%	25,590人	25,966人

(2) 健康増進事業

① 健康関連施設のチケットあっせん

事業名	計画数	実績数
スポーツクラブチケットあっせん	2,640人	2,190人

日帰り温泉チケットあっせん	15,960人	15,568人
練馬区立スポーツ施設個人利用カードあっせん	1,920人	1,354人
計 達成率 93.1%	20,520人	19,112人
平成 28 年度 101.1%	19,270人	19,482人

② 健康保持サービスの利用補助

事業名	計画数	実績数
人間ドック・脳ドック利用補助	150人	140人
定期健康診断経費補助	1,800人	1,997人
予防接種費用補助	2,000人	2,406人
計 達成率 115.0%	3,950人	4,543人
平成 28 年度 111.9%	4,180人	4,677人

(3) 自己啓発事業

① 文化・教養活動のあっせん・補助

事業名	計画数	実績数
観劇・コンサート等チケットあっせん	1,200人	1,569人
観劇・コンサート等チケット利用補助	480人	339人
展覧会等チケットあっせん	5,000人	5,469人
図書カードあっせん	2,400人	1,586人
映画鑑賞券あっせん	14,500人	12,840人
映画館のメンバーズカード手数料補助	840人	762人
計 達成率 92.4%	24,420人	22,565人
平成 28 年度 109.2%	24,920人	27,207人

② 生涯学習のための講座の実施等

事業名	計画数	実績数
講座利用補助	60人	24人
講座割引	55人	34人
計 達成率 50.4%	115人	58人
平成 28 年度 73.9%	115人	85人

(4) 余暇活動事業

① 旅行事業

事業名	計画数	実績数
はとバス利用補助	400人	352人
トラベル利用補助(パッケージツアー等)	2,500人	1,980人
計 達成率 80.4%	2,900人	2,332人
平成 28 年度 42.3%	4,400人	1,859人

② 遊園地等利用補助

事業名	計画数	実績数
としまえんチケットあっせん・利用補助	33,500人	15,253人
西武園ゆうえんちファミリーパスあっせん	4,200人	4,017人
東京ドームシティ得10チケットあっせん	750人	691人
東武動物公園ハッピーフリーパスあっせん	1,800人	1,400人
スポーツ観戦チケットあっせん	960人	799人
大相撲観戦チケットあっせん	120人	120人
スキーリフト券あっせん	500人	327人
東京湾納涼船乗船券あっせん	150人	66人
サンシャイン水族館あっせん	700人	1,250人
プラネタリウム満天あっせん	500人	400人
特別企画チケットあっせん	3,300人	3,134人
夏季プール券あっせん	600人	271人
東京ディズニーリゾート利用補助	6,000人	6,576人
計 達成率 64.6%	53,080人	34,304人
平成 28 年度 96.9%	72,692人	70,439人

(5) その他

① 会員証提示による割引等の事業

会員証を提示することにより、全福センターの契約施設を含め 191 施設で割引等の特典が受けられます。

② 会員との情報の受発信

会報を年6回(4・5月号、6・7月号、8・9月号、10・11月号、12.1月号、2・3月号)発行しました。

また、ねりまファミリーパックと会員事業所のホームページを相互リンクさせ、お互いの事業を紹介する「ファミパートナー」を12月に開設しました。

③ 会員の加入促進

永年在会の会員416人に、感謝の意と退会防止策として、「在会謝礼クーポン3,000円」を配付しました。

また、5～6月と11～12月に実施した入会促進キャンペーンでは428人が入会しましたが、昨年度に比べて90人減となりました。引き続き、会員紹介制度のPR、区報への広告掲載などを通して会員増強に努めます。

4 地域経済活性化のための観光振興に関する事業（定款第4条第2号）

（ねりま観光センターの運営）

ねりま観光センターでは、観光による地域経済の活性化を図るため、民間ならではの柔軟な発想・ノウハウ・実践力を活用して、さまざまな観光振興事業を展開しています。

平成29年度は、練馬区観光協会から移管を受けた事業を円滑かつ発展的に実施したほか、練馬区初開催のアニメ聖地巡礼ツアーなど、練馬区の魅力をPRし、区内周遊・誘客を促進する意欲的な事業を実施しました。

（1）観光商品の開発・支援に関する事業

① ねりコレ事業

「ねりコレ」（＝練馬のイチオシ商品コレクション）事業について、区内外に発信し、練馬のPRや、区内産業の振興に寄与することを目的に全面的にリニューアルを行いました。（例：自動更新の廃止、全商品均一であった掲載方法の見直しなど）。

平成29年10月 自薦・他薦により新規商品の募集開始（応募総数：133件）

平成30年1月 外部専門家（料理、芸術、販売等各分野のプロ）による審査

平成30年2月 一般区民（よりどりみどり練馬公式PRサポーター）による審査

平成30年5月 新「ねりコレ」の発表

【ねりコレ認定数内訳】

カテゴリ	認定数
和菓子	12
洋菓子	16
食品（漬物、ジャム、パンなど）	15
飲料（お茶・お酒）	7
グッズ	8
飲食店看板メニュー	19
合計	77

② グッズの制作・販売

練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」を使用したグッズなど、以下のグッズの制作・販売（卸売）を行いました。

商品名	販売開始日	価格（税込）
ねり丸シール	平成29年5月	100円
ねり丸クリアファイル（4種）	平成29年8月	100円

ねり丸缶バッジ	平成 30 年1月	100 円
ねり丸巾着	平成 30 年4月	200 円
「I♥練馬あるある」絵本*	平成 29 年7月	1,200 円
同クリアファイル	平成 29 年7月	100 円
同バッジ(5種)	平成 29 年8月	100 円
同ミニタオル	平成 29 年 8 月	500 円

* 「I♥練馬あるある」絵本は、練馬区独立 70 周年を記念し、練馬区と練馬区在住の人気絵本作家「のぶみ」さんが製作しました。

【平成 29 年度グッズ販売収入】 2,407,493 円

(参考:練馬区観光協会平成 28 年度グッズ販売収入:2,056,954 円)

(2) 観光情報の受発信に関する事業

① ホームページ・SNS

平成 29 年4月に観光情報ウェブサイト「とっておきの練馬」を開設し、区内の観光スポットやイベント、グルメ情報など練馬区の魅力を発信しています。

また、SNS(ツイッターやフェイスブック)との連動などリアルタイムな情報発信に努めています。

※ホームページ年間PV数:342, 865 件

※ツイッターフォロワー数:約 4,000 人

② 「ことりっふ練馬さんぽ」発行 (区と共催。11 月 1 日発行)

観光情報誌「ことりっふ」(昭文社)ブランドを活用した区内観光情報誌の発行にあたり、企画・編集協力を行いました。

【発行部数】4万部

【配布場所】観光案内所、区立施設、掲載スポット、書店などで配布するほか、電子書籍化による配信

【その他の展開】11 月 23 日(祝)、冊子の掲載店舗・観光スポット等を巡るモデルツアーを試行実施。掲載スポットや冊子発行のPRを行ったほか、今後の観光センターで実施する各種参加・体験型事業の実現に向け、ツアー場所・内容、交通手段等の検証を行いました。

③ お花見散歩まっふ発行 (3月1日発行)

区内桜の名所を中心とした6つのお花見散歩コースを紹介するマップをさらに見やすくリニューアルし、作成・配布しました。

【発行部数】2万3千部

【配布場所】観光案内所、区立施設、掲載スポット、商店街、スーパーなど

④ 練馬区観光ガイドマップ発行 (3月9日発行)

練馬を代表する 45 の観光スポットを紹介した観光ガイドマップを作成・配布しました。

初めて練馬区に訪れた方でも分かり易く練馬区の観光スポットを紹介するとともに、外国人のおもてなしやご案内にも便利な外国語版(英語、中国語<繁体字・簡体字>、韓国語)も初めて作成しました。

【発行部数】4万2千部(日本語3万部、多言語版各3千部)

【配布場所】観光案内所、区立施設、掲載スポット、ショッピングセンター、東京観光情報センターなど

(3) 参加・体験型事業

事業名	開催日	申込者	参加者	備考
富士見台アニメ聖地巡礼ツアー	10月21日、28日	209名* (定員各30名)	44名	手塚治虫氏が製作拠点を置き、数多くの名作を生んだ虫プロ・富士見台に焦点を当てたツアー
同トークショー	11月1日	当日受付	35名	手塚氏の元担当編集者の方々が当時を語るトークショー

*大手新聞3紙に掲載された事もあり、遠隔地も含め多くの申込を集めました。

【収入】富士見台アニメ聖地巡礼ツアー 22,000円(参加料@500×44名)

同トークショー 2,000円(@100×有料入場者20名)

(4) 観光資源の調査・研究に関する事業

① 区内観光動態調査【公益財団法人東京観光財団助成事業】

平成29年8月～10月に区内観光動態調査を情報通信会社へ委託して実施。携帯電話の位置情報(GPS)を活用して、練馬区内の観光スポット30か所における来訪者、性・年代、発地、交通手段、周遊等を調査・分析しました。

調査・分析結果にもとづき、各種観光マップの配布場所・掲載スポットの選定を行ったほか、今後の観光誘客施策に活用します。

(5) 観光事業への協賛・後援に関する事業

観光イベント主催者からの依頼を受け、協賛(協力)、後援を行うとともにPR面での事業協力を行っています。

事業名	主催者	開催日	会場	種別
第30回照姫まつり	照姫まつり推進協議会	4月23日	石神井公園および周辺地域	後援
アニメプロジェクト in 大泉2017	アニメプロジェクト in 大泉推進連絡会	5月21日	大泉学園駅北口周辺	後援
第7回井のいち	井のいち実行委員会	5月21日	石神井氷川神社	後援
第25回きたまち阿波踊り	きたまち阿波踊り実行委員会	7月29日	旧川越街道・商店街内	後援
真夏の第九*	区、区文化振興協会	8月5日	区立文化センター	協力
第4回まち中つながる展示会	まち中つながる展示会実行委員会	9月21日～11月5日	江古田周辺	後援

練馬区サンクスマッチ	練馬区サンクスマッチ 実行委員会	8月20日	味の素スタジアム	共催
ロハスフェスタ東京 2017	ロハスフェスタ実行委 員会	9月16日 ～18日	光が丘芝生広場	後援
SEIBU HALLOWEEN モンストスタンプラリー	西武鉄道	10月6日～ 11月10日	西武鉄道沿線	協力
練馬アニメカーニバル 2017*	練馬アニメカーニバル 推進連絡会	10月14・15 日	練馬駅北口周辺	共催
第40回練馬まつり	練馬まつり推進協議 会	10月15日	としまえん	後援
公園と街を巡るウォークラ リー	東京都公園協会	11月23日 ～26日	石神井公園駅～石 神井公園	後援
練馬こぶしハーフマラソ ン 2018	練馬こぶしハーフマラ ソン実行委員会	3月25日	光が丘公園および 周辺	協賛

*真夏の第九：練馬区独立70周年コンサート「真夏の第九」会場において、ねりま観光センターとして出店。区内の銘品（パン、焼きドーナツ、手作りジャムなど）、練馬区独立70周年記念絵本、ねり丸グッズ等の販売を行ったほか、「東京ワイナリー」の販売支援を行いました。

*練馬アニメカーニバル 2017: 共催として運営に関わるほか、区内在住作家の協力を得て、友禅染めの技法を用いた「ねり丸タペストリー」を制作、展示。練馬区アニメおよび伝統工芸のPRを行いました。

(6) 観光案内所運営事業

観光情報発信の拠点として、区内観光スポット、イベントの紹介や区内名産品の販売を行っています。

① 観光案内所運営概況

	産業・観光情報コーナー (ねりま観光案内所)	石神井観光案内所
場所	区民・産業プラザ3階	石神井公園駅中央改札口そば
営業時間	9:00～21:00 (年末年始のみ休業)	9:00～19:00 (年末年始のみ休業)
利用者	87,935人 (1日平均/244人)	59,748人 (1日平均/166人)
売上	15,566,948円 (1日平均/43,242円)	15,623,385円 (1日平均/43,398円)

※平成30年1月、23区観光主管課宛て観光案内所の実態調査を実施。平成28年度の利用者数および売上額について、全22観光案内所中、第4位という結果でした(産業・観光情報コーナー)。

※(株)西武プロパティーズがエミオ入居店舗を対象に実施した覆面調査(接客対応や店内環境を評価)において、石神井観光案内所は第4位(全177店舗中)に評価されました。

② イベント出展

下記のイベントに出展し、ねり丸グッズ、ねりコレ商品等の販売や観光パンフレットの配布等、練馬区の観光PRを行いました。

開催日	イベント名	会場
4月23日	第30回照姫まつり	石神井公園および周辺
5月21日	アニメプロジェクト in 大泉 2017	大泉学園駅北口周辺
8月1日	花火フェスタ	練馬総合運動場および周辺
9月9・10日	石神井ビール祭り	大陽ステンレススプリング(株) 石神井工場跡地
10月15日	第40回練馬まつり	としまえん
1月5日	練馬区新年賀詞交換会	としまえん
1月8日	成人の日のつどい	としまえん
3月10日	西武グリーンマルシェ	石神井公園駅前
3月25日	練馬こぶしハーフマラソン 2018	光が丘公園および周辺

③ 東京観光案内所への指定（9月11日）

東京都から、産業・観光情報コーナーおよび石神井観光案内所が「東京観光案内窓口」の指定を受けました。指定に伴い、モニター付きコールセンター通訳サービス（TV電話を介した外国語通訳サービス）など様々な支援策を活用しています。

5. 法人の目的を達成するため実施する事業（定款第4条第4号）

（練馬区から受託する事業）

（1）高齢者いきいき健康事業（平成29年4月1日現在対象者 167,620人）

平成21年度から練馬区より「いきいき健康券」の受付、発行等の業務を受託しています。この事業は、65歳以上の区民を対象に、10のサービスメニューから1つを選び利用することができます。

平成29年度いきいき健康券受付等処理件数	合計	交付	再発行	不交付
	87,371件	84,887件	989件	1,495件
平成28年度	88,802件	86,063件	964件	1,775件

処理件数は、前年度より1,431件減少しました。

6 社員総会および理事会の開催、監査の実施ならびに共済事業運営委員会の開催について

定款の規定に基づき開催した社員総会および理事会は、各議案についてすべて可決および承認されました。

また、平成28年度一般会計に係る決算について監査を行いました。

(1) 社員総会の開催状況

回数	開催日	議案等
第1回	平成29年5月19日	議案第1号 平成28年度事業報告および収支決算ならびに監査報告 議案第2号 理事ならびに監事の選任 議案第3号 役員に関する規程の改定報告 (1)産業振興公社ロゴマーク (2)ねりま観光センターの平成29年度事業 (3)ねりまファミリーパック会員アンケート結果 その他 (1)今後の日程
第2回	平成29年11月17日	議案第4号 平成29年度収支予算の補正(第1回) 議案第5号 職員の育児休業・介護休業等に関する規程の改定報告 (1)平成29年度上半期事業報告および収支状況 (2)練馬区観光協会からの寄付の受領 その他 (1)今後の日程
第3回	平成30年3月23日	議案第6号 平成29年度収支予算の補正(第2回) 議案第7号 就業規程の改定 議案第8号 雇用期間が定められている職員の設置および就業に関する規程の改定 議案第9号 雇用期間が定められている職員の設置および就業の特例に関する規程の制定 議案第10号 ねりま観光センター長の任用および就業等に関する規程の改定 議案第11号 ネリサポコーディネーターの設置等に関する規程の改定 議案第12号 職員の給与に関する規程の改定 議案第13号 平成30年度事業計画および収支予算 議案第14号 理事の選任 議案第15号 役員に関する規程の改定報告 (1)区民・産業プラザの利用状況アンケート集計結果 (2)練馬ビジネスサポートセンターの利用者アンケート集計結果 その他 (1)今後の日程

(2) 理事会の開催状況

回数	開催日	議案等
第1回	平成29年5月12日	<p>議案第1号 平成28年度事業報告および収支決算ならびに監査報告</p> <p>議案第2号 理事ならびに監事の選任および役員に関する規程の改定について平成29年度第1回社員総会の付議事項とすること</p> <p>議案第3号 平成29年度第2回社員総会の開催報告 (1)産業振興公社ロゴマーク (2)ねりま観光センターの平成29年度事業 (3)ねりまファミリーパック会員アンケート結果</p> <p>その他 (1)今後の日程</p>
書面 表決	平成29年5月19日	<p>議案第4号 理事長の選出</p> <p>議案第5号 副理事長の選出</p> <p>議案第6号 常務理事の選出</p>
第2回	平成29年11月10日	<p>議案第7号 平成29年度収支予算の補正(第1回)</p> <p>議案第8号 職員の育児休業・介護休業等に関する規程の改定</p> <p>議案第9号 平成29年度第3回社員総会の開催報告 (1)平成29年度上半期事業報告および収支状況 (2)練馬区観光協会からの寄付の受領</p> <p>その他 (1)今後の日程</p>
第3回	平成30年3月8日	<p>議案第10号 平成29年度収支予算の補正(第2回)</p> <p>議案第11号 就業規程の改定</p> <p>議案第12号 雇用期間が定められている職員の設置および就業に関する規程の改定</p> <p>議案第13号 雇用期間が定められている職員の設置および就業の特例に関する規程の制定</p> <p>議案第14号 ねりま観光センター長の任用および就業等に関する規程の改定</p> <p>議案第15号 ネリサポコーディネーターの設置等に関する規程の改定</p> <p>議案第16号 職員の給与に関する規程の改定</p> <p>議案第17号 平成30年度事業計画および収支予算</p> <p>議案第18号 平成30年度第1回社員総会の開催報告 (1)区民・産業プラザの利用状況アンケート集計結果 (2)練馬ビジネスサポートセンターの利用者アンケート集計結果</p> <p>その他 (1)今後の日程</p>
書面 表決	平成30年3月23日	<p>議案第19号 理事の選任および役員に関する規程の改定について平成29年度第3回社員総会の付議事項とすること</p>

(3) 監査の実施状況

開催日	監査内容
平成 29 年 5 月 9 日	平成28年度一般会計に係る決算に伴い、監事が平成28年度の事業執行状況および会計処理全般の監査を実施しました。

(4) 共済事業運営委員会

	開催日	内 容
第 1 回	平成 29 年 5 月 9 日	報告 1 平成28年度事業報告および収支決算 2 平成29年度事業計画および収支予算 3 勤労者福祉共済事業に関する規程の改正 4 会員アンケートの調査結果 5 その他
第 2 回	平成 29 年 10 月 27 日	報告 1 平成29年度上半期事業報告および収支状況 2 平成30年度の共済事業について 3 その他

Ⅲ 平成 29 年度収支決算

(収支決算)

- 1 決算書類は、一般社団法人練馬区産業振興公社財務規程第3条に公益法人会計基準を適用することを定めています。
- 2 公益会計基準は、平成20年4月に内閣府公益認定等委員会が改定していません。

この基準では、基準設定の目的について公益法人の運営状況を法人の関係者に広く伝え、法人の健全な運営に役立てることとしています。

また、財務諸表等の作成に当たっての原則として「財務諸表は、資産、負債及び正味財産の状態ならびに正味財産増減の状況に関する真実の内容を明瞭に表示しなければならない」と定めています。
- 3 当法人では、財務諸表として貸借対照表と正味財産増減計算書が該当します。

なお、財産目録は財務諸表から除かれています。貸借対照表を補完する決算書類として公益法人会計基準に基づき作成します。

公益法人会計基準には、貸借対照表の内容などについて、つぎのように定めています。

 - (1) 貸借対照表は、当該事業年度末現在におけるすべての資産、負債及び正味財産の状態を明瞭に表示するものでなければならない。
 - (2) 財産目録は、当該事業年度末現在におけるすべての資産及び負債につき、その名称、数量、使用目的、価額等を詳細に表示するものでなければならない。
 - (3) 正味財産増減計算書は、当該事業年度における正味財産のすべての増減内容を明瞭に表示するものでなければならない。
- 4 収支計算書は、公益法人会計基準の範囲外ですが、内部管理上作成が必要な書類とされています。

1 貸借対照表

平成30年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	61,750,299	63,707,617	△1,957,318
未収金	2,969,746	2,302,326	667,420
前払金	346,245	894,780	△548,535
棚卸資産	4,569,311	2,166,356	2,402,955
流動資産合計	69,635,601	69,071,079	564,522
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	20,403,849	22,357,825	△1,953,976
事業運営基金積立資産	149,759,958	140,227,666	9,532,292
特定資産合計	170,163,807	162,585,491	7,578,316
(2) その他固定資産			
備品	499,800	499,800	0
備品減価償却累計額	△499,799	△499,799	0
出資金	30,000	30,000	0
その他固定資産合計	30,001	30,001	0
固定資産合計	170,193,808	162,615,492	7,578,316
資産合計(A)	239,829,409	231,686,571	8,142,838
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	54,691,833	47,208,965	7,482,868
前受金	11,881,400	12,618,750	△737,350
預り金	457,476	509,545	△52,069
流動負債合計	67,030,709	60,337,260	6,693,449
2. 固定負債			
退職給付引当金	20,403,849	22,357,825	△1,953,976
固定負債合計	20,403,849	22,357,825	△1,953,976
負債合計(B)	87,434,558	82,695,085	4,739,473
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	90,500,000	90,500,000	0
(うち特定資産への充当額)	(90,500,000)	(90,500,000)	(0)
2. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	61,894,851	58,491,486	3,403,365
(うち特定資産への充当額)	(61,894,851)	(58,491,486)	(3,403,365)
正味財産合計(C)	152,394,851	148,991,486	3,403,365
負債及び正味財産合計(B) + (C)	239,829,409	231,686,571	8,142,838

2 財産目録

平成30年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金	手元管理	年度末売上金	1,276,250	
預金	普通預金			
	みずほ銀行練馬富士見台支店	事業費口座として	275,284	
	巣鴨信用金庫練馬支店	事業費口座として	2,944,622	
	みずほ銀行練馬富士見台支店	管理費口座として	9,589,046	
	巣鴨信用金庫練馬支店	指定管理費口座として	9,981,345	
	巣鴨信用金庫練馬支店	予備指定管理費口座として	86,155	
	みずほ銀行練馬富士見台支店	中小企業支援事業費口座として	7,818,315	
	巣鴨信用金庫練馬支店	予備事業費口座として	2,375,200	
	みずほ銀行練馬富士見台支店	預り金口座として	457,476	
	みずほ銀行練馬富士見台支店	観光口座として	13,352,963	
	みずほ銀行練馬富士見台支店	退職金等対応口座として	3,141,351	
	ゆうちょ銀行	事業費口座として	2,782,478	
	ゆうちょ銀行	指定管理費口座として	7,669,814	
		小計	[60,474,049]	
未収金	内訳書参照		2,969,746	
前払金	内訳書参照		346,245	
棚卸資産	内訳書参照		4,569,311	
流動資産合計			69,635,601	
(固定資産)				
特定資産	退職給付引当資産	定期預金		
		みずほ銀行練馬富士見台支店	退職給付積立預金として	3,329,193
		東京あおば農協豊玉支店	退職給付積立預金として	12,362,656
		定額貯金		
		ゆうちょ銀行	退職給付積立預金として	4,712,000
		小計	[20,403,849]	
	事業運営基金積立資産	定期預金		
		西京信用金庫練馬支店	事業運営基金として	55,309,470
		巣鴨信用金庫練馬支店	事業運営基金として	20,068,898
		大和ネクスト銀行	事業運営基金として	10,171,819
		東京あおば農協豊玉支店	事業運営基金として	54,209,771
		有価証券		
		大和証券練馬支店		10,000,000
		小計	[149,759,958]	
その他固定資産	備品	印刷機	事業に使用	499,800
	備品減価償却累計額			△499,799
	出資金	中央労働金庫池袋支店		10,000
		巣鴨信用金庫練馬支店		20,000
		小計	[30,001]	
固定資産合計			170,193,808	
資産合計			239,829,409	
(流動負債)				
	未払金	内訳書参照	54,691,833	
	前受金	内訳書参照	11,881,400	
	預り金	雇用保険に対するもの	雇用保険料本人負担分	457,476
流動負債合計			67,030,709	
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員8名に対する退職金支払いに備えるもの	20,403,849
固定負債合計			20,403,849	
負債合計			87,434,558	
正味財産			152,394,851	

3 財産目録の内訳書

未収金の明細

(単位：円)

科 目	内 容	金 額
事業収入		
共済事業収入		
生活充実事業収入	練馬区内共通商品券 @5,000×12	60,000
	マックカード @2,000×4	8,000
健康増進事業収入	豊島園庭の湯 @1,500×10	15,000
	箱根小涌園ユネッサン @1,800×4	7,200
	スパリゾートハワイアンズ @700×4	2,800
	練馬区立スポーツ施設個人利用カード @1,600×1	1,600
自己啓発事業収入	全国映画鑑賞券 @600×3	1,800
	ユナイテッドシネマ映画鑑賞券 @1,300×1 @800×3	3,700
	T・ジョイ大泉映画鑑賞券 @1,300×6 @800×12	17,400
	TOHOシネマズ映画鑑賞券 @1,300×3	3,900
余暇活動事業収入		
遊園地等利用補助収入	得10チケット @2,500×1	2,500
	花とみどりのギフト券 @4,500×2	9,000
受託事業収入		
いきいき健康事業収入	高齢者いきいき健康事業 業務委託料(3月分)	1,500,000
雑収入		
広告料収入	ガイドブック平成30・31年度版掲載広告料	745,200
手数料収入	プラザ自動販売機販売手数料	89,550
	プラザ自動販売機電気料	117,923
	観光案内所手数料(練馬)	63,078
	観光案内所手数料(石神井)	79,299
物品販売収入	ねり丸ぬいぐるみストラップ @640×66	42,240
	ねり丸クリアファイル @80×251 @75×1	20,155
	ねり丸缶バッジ @80×80 @75×3	6,625
	ねり丸えんぴつ @160×16	2,560
	ねり丸クッション @1,760×18 @1,600×1	33,280
	ねり丸ふせん紙 @240×28	6,720
	ねり丸シール @80×89	7,120
	ねり丸スケールモデル(2台セット) @1,600×2	3,200
	ねり丸LINEスタンプ	46,576
	四月は君の嘘クリアファイル @280×37	10,360
	四月は君の嘘ノート @320×8	2,560
	「I♥練馬あるある」絵本 @960×56	53,760
	「I♥練馬あるある」ミニタオル @400×4	1,600
	「I♥練馬あるある」缶バッジ @80×7	560
「I♥練馬あるある」クリアファイル @80×56	4,480	
未収金 合計		2,969,746

前払金の明細

(単位：円)

科 目	内 容	金 額
事業費		
共済事業費		
自己啓発事業費	平成30年度観劇チケット	324,200
ビジネスサポートセンター費		
経営相談事業費		
相談等事業費	平成30年度「経営相談会」チラシ・ポスター作成費	22,045
前払金 合計		346,245

棚卸資産の明細

(単位：円)

内 容	単 価	在庫数 (枚)	金 額
ねりまファミリーバック会員証	@85	700	59,500
ガイドブック平成30・31年度版	@121.0	2,725	329,725
事業案内リーフレット	@9.20	5,094	46,865
会員紹介謝礼(グルメカード)	@480	234	112,320
練馬区立スポーツ施設個人利用カード	@2,000	105	210,000
TOHOシネマズ映画鑑賞券	@1,300	27	35,100
NHK文化センター	@1,995	12	23,940
練馬区内共通商品券	@5,500	33	181,500
花とみどりのギフト券	@960	6	5,760
区民・産業プラザ利用登録カード	@74.0	1,222	90,428
ゴミ処理券	@367	50	18,350
ケータリングパンフレット	@118	1,960	231,280
スケールモデル	@1,890	132	249,480
ねり丸クリアファイル	@61.38	3,742	229,684
ねり丸缶バッジ	@61.6	1,004	61,806
ねり丸ストラップ	@453.6	358	162,389
ねり丸クッション	@1,188	475	564,300
ねり丸ふせん	@155.5	699	108,695
ねり丸シール	@47	1621	76,187
ねり丸巾着	@179	3,000	537,000
四月は君の嘘クリアファイル	@68.6	1,580	108,388
四月は君の嘘ノート	@229.4	50	11,470
「I♥練馬あるある」クリアファイル	@64.6	138	8,915
「I♥練馬あるある」缶バッジ	@65	102	6,630
「I♥練馬あるある」絵本	@883	1128	996,024
「I♥練馬あるある」ミニタオル	@354	293	103,576
棚卸資産 合計			4,569,311

前受金の明細

(単位：円)

科 目	内 容	金 額
事業収入		
共済事業収入		
会費・入会金収入	平成30年度会費・入会金	2,035,700
健康増進事業収入	平成30年度ハワイアンズチケット代	30,100
自己啓発事業収入	平成30年度観劇チケット 他	1,418,700
余暇活動事業収入		
遊園地等利用補助収入	平成30年度としまえんフリーパス 他	1,075,600
指定管理業務収入		
利用料収入	平成30年度プラザ ホール利用料 他	7,271,300
雑収入		
雑収入	平成30年度「創業ねりま塾」協賛金	50,000
前受金 合計		11,881,400

未払金の明細

(単位：円)

科 目	内 容	金 額
事業収入		
共済事業収入		
会費・入会金収入	会費還付	10,000
補助金収入		
区補助金収入	補助金清算金還付	18,166,965
事業費		
共済事業費		
生活充実事業費		
給付事業費	給付金(3月16日～31日受付分)	1,110,000
生活充実事業費	レストラン利用補助(3月分)	480,800
	ジェフグルメカード(3月分)	1,401,600
健康増進事業費	ティップネス利用券(3月分)	48,152
	人間ドック利用補助(3月分)	45,000
	定期健康診断経費補助(3月16日～31日受付分)	306,000
	予防接種費用補助(3月16日～31日受付分)	139,000
自己啓発事業費	ユナイテッドシネマ映画鑑賞券(1月～3月分)	834,800
	ユナイテッドシネマメンバーズカード更新手数料補助(3月分)	62,500
	T・ジョイ大泉映画鑑賞券(3月分)	688,300
	練馬文化センター主催・共催事業利用補助(3月分)	28,000
余暇活動事業費		
旅行事業費	はとバス利用補助(3月分)、トラベル利用補助(3月分)	740,000
遊園地等利用補助費	東京ディズニーリゾート利用補助(3月分)	877,000
	東京ドームシティ「得10チケット」(3月分)	195,000
	としまえんフリーパス(3月分)	540,400
	相模湖リゾート利用補助	3,000
共済事業運営費		
会報等発行費	会報4・5月号、ガイドブック発送料	708,800
会員加入促進費	ポスティング経費	376,300
印刷製本費	平成30年度入会申込書等作成費	204,606
通信運搬費	代金引換郵便郵便料(3月分)	52,493
ビジネスサポートセンター費		
経営相談事業費		
相談等事業費	専門相談業務費および出張相談業務費(3月分)	315,720
事務費等	事務用消耗品購入費 他	87,141
通信運搬費	後納郵便料金(3月)・専用電話料(3月分)	51,425
手数料	ビジネスWEB手数料(3月分)	1,080
	デジタル複合機リース料・保守料(3月分)	16,411
中小企業支援事業費		
情報提供事業費	ねりま産業情報紙「neri-made」発行業務委託費	696,600
	ねりま産業情報紙「neri-made」掲載記事原稿作成料	10,800
	練馬区中小企業景況データ購入費	270,000
	都内中小企業景況情報ガイド購入費	8,093
補助及び助成事業費	ホームページ作成費補助金	105,000
	見本市等出展費用補助金	76,000
空き店補助	店舗等賃借料補助金	360,000
	企業診断および経営サポート費(3月分)	207,360

未払金の明細

(単位：円)

科 目	内 容	金 額
観光振興費		
観光事業推進費		
観光事業費	ねりコレ冊子作成業務委託料	3,998,700
ホームページ事業費	ホームページ保守料	156,240
通信運搬費	後納郵便料金(3月分)・専用電話料(3月分)等	46,132
システム経費	デジタル複合機保守料(3月分)	514
観光案内所運営費		
委託料	観光案内所委託料(3月分)等	2,312,928
通信運搬費	回線・プロバイダ料(3月分)	21,116
システム経費	観光案内所パソコンリース料(3月分)	10,152
区民・産業プラザ維持運営費		
施設運営費		
行政財産使用料等	自動販売機にかかる電気料負担額	119,614
消耗品費	施設管理用物品購入費	2,576
通信運搬費	後納郵便料金(3月分)・専用電話料(3月分)等	84,683
窓口業務委託料	区民・産業プラザ窓口業務委託料(3月分)	1,348,380
システム経費	デジタル複合機保守料(3月分)	989
施設維持管理費		
光熱水費	区民・産業プラザ光熱水費(3月分)	1,346,803
設備保守費	分煙器レンタル料(3月分)・フロアマットリース料(3月分) AV設備保守費(10月～3月分)	30,024 401,760
清掃衛生費	区民・産業プラザ清掃等業務委託費(3月分) 空調加湿器・空調機ドレンパン清掃費	3,345,300 3,213,000
受託事業費		
いきいき健康事業費	高齢者いきいき健康事業経費(郵便料3月分 他)	1,248,125
管理費		
人件費		
報酬	常務理事社会保険料(3月分)	93,713
給与	超過勤務手当(3月分)、派遣人件費(3月分)	1,657,590
共済費	職員社会保険料(3月分)	599,891
運営費		
旅費・研修費	カーシェア(3月分)	5,562
消耗品費	事務用消耗品購入費	260,236
光熱水費	公社事務局光熱水費(3月分)	123,287
通信運搬費	後納郵便料金(3月分)・専用電話料(3月分)等	303,326
手数料	振込手数料(3月分) ビジネスWEB手数料(3月分) 残高証明発行手数料 チャージ引き取り処分料	20,736 5,400 2,766 28,080
委託料	共済事業窓口業務委託料(3月分)	1,081,620
システム経費	ホームページWEBサイト利用料 デジタル複合機リース料・保守料(3月分)	108,864 11,344
備品費	事務室レイアウト変更に伴う什器購入経費	478,236
退職金	職員退職金	2,999,800
	未払金 合計	54,691,833

4 正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収入	[354,936,284]	[398,768,531]	[△43,832,247]
共済事業収入	(224,331,700)	(264,779,000)	(△40,447,300)
会費・入会金収入	72,086,300	74,063,300	△1,977,000
生活充実事業収入	59,543,100	60,342,000	△798,900
健康増進事業収入	21,026,100	22,375,100	△1,349,000
自己啓発事業収入	34,960,900	37,362,700	△2,401,800
余暇活動事業収入	36,715,300	70,635,900	△33,920,600
指定管理業務収入	(106,270,780)	(109,616,500)	(△3,345,720)
受託収入	75,102,000	77,308,000	△2,206,000
利用料収入	31,168,780	32,308,500	△1,139,720
受託事業収入	(24,333,804)	(24,373,031)	(△39,227)
受取補助金	[251,775,535]	[170,991,263]	[80,784,272]
区補助金収入	(249,389,035)	(170,991,263)	(78,397,772)
その他補助金収入	(2,386,500)	0	(2,386,500)
雑収入	[11,110,298]	[6,354,445]	[4,755,853]
受取利息	378,201	272,777	105,424
広告料収入	1,954,627	965,517	989,110
手数料収入	3,904,550	2,869,511	1,035,039
受講料収入	1,498,500	1,403,700	94,800
雑収入	966,927	842,940	123,987
物産販売収入	2,407,493	0	2,407,493
寄付金収入	[3,963,300]	0	[3,963,300]
経常収益計	621,785,417	576,114,239	45,671,178
(2) 経常費用			
事業費	[470,537,873]	[431,725,996]	[38,811,877]
共済事業費	(235,112,399)	(258,036,340)	(△22,923,941)
生活充実事業費	96,070,457	95,031,281	1,039,176
健康増進事業費	33,234,280	35,407,906	△2,173,626
自己啓発事業費	39,320,664	42,307,578	△2,986,914
余暇活動事業費	52,236,991	74,606,642	△22,369,651
会報等発行費	8,235,093	6,107,070	2,128,023
会員加入促進費	3,401,850	2,048,870	1,352,980
消耗品費	129,985	165,247	△35,262
印刷製本費	1,326,936	625,066	701,870
通信運搬費	878,703	1,585,332	△706,629
諸費	277,440	151,348	126,092
ビジネスサポートセンター費	(85,107,417)	(80,010,891)	(5,096,526)
経営相談事業費	12,694,879	18,942,289	△6,247,410
中小企業支援事業費	72,412,538	61,068,602	11,343,936
区民・産業プラザ維持運営費	(77,546,580)	(73,627,877)	(3,918,703)
施設運営費	20,161,531	20,765,278	△603,747
施設維持管理費	57,385,049	52,862,599	4,522,450
観光振興費	(54,032,350)	0	(54,032,350)
観光事業推進費	25,118,518	0	25,118,518
観光案内所運営費	28,913,832	0	28,913,832
受託事業費	(18,739,127)	(20,050,888)	(△1,311,761)
期首棚卸資産	[2,166,356]	[1,671,749]	[494,607]
期末棚卸資産	[△4,569,311]	[△2,166,356]	[△2,402,955]

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	[150,247,134]	[132,145,423]	[18,101,711]
管理人件費	(109,677,725)	(91,521,219)	(18,156,506)
報酬	12,717,338	12,618,396	98,942
給与	79,746,880	63,452,186	16,294,694
共済費	16,167,683	14,440,832	1,726,851
退職給付費用	1,045,824	1,009,805	36,019
管理運営費	(40,569,409)	(40,624,204)	(△54,795)
役員報酬等	426,000	516,000	△90,000
健康診断料	234,159	174,414	59,745
旅費・研修費	236,285	119,329	116,956
消耗品費	902,971	496,341	406,630
印刷製本費	424,764	49,140	375,624
光熱水費	428,226	426,694	1,532
通信運搬費	2,596,721	2,471,629	125,092
手数料	1,814,449	1,571,665	242,784
委託料	13,919,591	14,123,700	△204,109
利用料および賃借料	335,664	335,664	0
システム経費	13,910,209	12,171,002	1,739,207
事務室改修費	0	1,382,508	△1,382,508
備品費	828,150	557,604	270,546
租税公課費	4,027,240	5,734,720	△1,707,480
諸費	484,980	493,794	△8,814
経常費用計	618,382,052	563,376,812	55,005,240
当期経常増減額	3,403,365	12,737,427	△9,334,062
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
他会計振替額	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,403,365	12,737,427	△9,334,062
一般正味財産期首残高	58,491,486	45,754,059	12,737,427
一般正味財産期末残高	61,894,851	58,491,486	3,403,365
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	90,500,000	90,500,000	0
基金期末残高	90,500,000	90,500,000	0
IV 正味財産期末残高	152,394,851	148,991,486	3,403,365

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準および評価方法について

出資金……移動平均法に基づく原価法で評価している。

(2) 棚卸資産の評価基準および評価方法

棚卸資産……最終仕入原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品……定率法による減価償却を実施している。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金……職員全員の定年退職を前提とした期末退職給与の要支給額に相当する金額から勤労者退職金共済機構・中小企業退職金共済事業本部の退職手当共済契約に基づいて支払われる金額を控除した金額を計上している。

(5) 消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込み方式を採用している。

2. 特定資産の増減額およびその残高

特定資産の増減額およびその残高は、つぎのとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	22,357,825	0	1,953,976	20,403,849
事業運営基金積立資産	140,227,666	9,532,292	0	149,759,958
合 計	162,585,491	9,532,292	1,953,976	170,163,807

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、つぎのとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
退職給付引当資産	20,403,849	(0)	(0)	(20,403,849)
事業運営基金積立資産	149,759,958	(0)	(61,894,851)	(0)
合 計	170,163,807	(0)	(61,894,851)	(20,403,849)

4. 固定資産の取得価格・減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格・減価償却累計額及び当期末残高は、つぎのとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
備品	499,800	499,799	1
出資金	30,000	—	30,000
合 計	529,800	499,799	30,001

5. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高はつぎのとおりである。(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
区補助金						
人件費	練馬区	0	95,027,937	95,027,937	0	-
運営費	練馬区	0	36,593,819	36,593,819	0	-
事業費	練馬区	0	117,767,279	117,767,279	0	-
その他補助金	※	0	2,386,500	2,386,500	0	-
合 計		0	251,775,535	251,775,535	0	

※中小企業基盤整備機構(1,386,500円)、東京観光財団(1,000,000円)

6. 基金および代替基金の増減およびその残高

基金および代替基金の増減およびその残高は、つぎのとおりである。(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金				
	90,500,000	0	0	90,500,000
基 金 計	90,500,000	0	0	90,500,000
代替基金				
	0	0	0	0
代替基金計	0	0	0	0
合 計	90,500,000	0	0	90,500,000

5 平成29年度 一般会計収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

収入支出額

区 分	金 額	前年度	増△減
収入済額(C)	633,937,680円	581,067,068円	52,870,610円(9.1%)
支出済額(D)	633,317,099円	574,499,605円	58,817,492円(10.2%)
収支差額(C)-(D)	620,581円	6,567,463円	△5,946,882円

【収入】

科 目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額
1 事業収入	393,127,000	△ 37,210,000	0	355,917,000
(1) 共済事業収入	260,982,000	△ 35,500,000	0	225,482,000
① 会費・入会金収入	75,160,000	△ 2,000,000	0	73,160,000
② 生活充実事業収入	61,320,000	△ 1,500,000	0	59,820,000
③ 健康増進事業収入	23,642,000	△ 2,000,000	0	21,642,000
④ 自己啓発事業収入	39,878,000	△ 5,500,000	0	34,378,000
⑤ 余暇活動事業収入	60,982,000	△ 24,500,000	0	36,482,000
(2) 指定管理業務収入	107,812,000	△ 1,710,000	0	106,102,000
① 受託収入	75,102,000	0	0	75,102,000
② 利用料金収入	32,710,000	△ 1,710,000	0	31,000,000
(3) 受託事業収入	24,333,000	0	0	24,333,000
① いきいき健康事業収入	24,333,000	0	0	24,333,000
2 補助金収入	267,556,000	△ 7,310,000	0	260,246,000
(1) 区補助金収入	267,556,000	△ 9,696,000	0	257,860,000
(2) その他補助金収入	0	2,386,000	0	2,386,000
3 雑収入	9,462,000	118,000	0	9,580,000
(1) 受取利息	150,000	118,000	0	268,000
(2) 広告料収入	1,606,000		0	1,606,000
(3) 手数料収入	3,764,000		0	3,764,000
(4) 受講料収入	1,521,000		0	1,521,000
(5) 物品販売収入	2,000,000		0	2,000,000
(6) 雑収入	421,000		0	421,000
4 特定預金取崩収入	5,585,000	950,000	0	6,535,000
5 寄付金収入	0	3,964,000	0	3,964,000
当期収入合計(A)	675,730,000	△ 39,488,000	0	636,242,000
前期繰越収支差額(B)	1,000,000	5,568,000	0	6,568,000
収入合計(C)	676,730,000	△ 33,920,000	0	642,810,000

(単位=円)

収入済額	差 異	収入率	説 明	科 目
354,936,284	980,716	99.7%		1 事業収入
224,331,700	1,150,300	99.5%		(1)共済事業収入
72,086,300	1,073,700	98.5%	会費・入会金収入	①会費・入会金収入
59,543,100	276,900	99.5%	区内共通商品券、グルメカード 等	②生活充実事業収入
21,026,100	615,900	97.2%	日帰り温泉チケット、練馬区スポーツ施設利用カード 等	③健康増進事業収入
34,960,900	△ 582,900	101.7%	観劇・展覧会チケット、映画鑑賞券 等	④自己啓発事業収入
36,715,300	△ 233,300	100.6%	遊園地フリーパス、スポーツ観戦チケット 等	⑤余暇活動事業収入
106,270,780	△ 168,780	100.2%		(2)指定管理業務収入
75,102,000	0	100.0%	練馬区からの受取指定管理費	①受託収入
31,168,780	△ 168,780	100.5%	区民・産業プラザ利用料金収入	②利用料収入
24,333,804	△ 804	100.0%		(3)受託事業収入
24,333,804	△ 804	100.0%	練馬区から受託する事業収入	①いきいき健康事業収入
251,775,535	8,470,465	96.7%		2 補助金収入
249,389,035	8,470,965	96.7%	練馬区からの補助金	(1)区補助金収入
2,386,500	△ 500	100.0%	中小企業基盤整備機構補助金 等	(2)その他補助金収入
11,110,298	△ 1,530,298	116.0%		3 雑収入
378,201	△ 110,201	141.1%	預金利息	(1)受取利息
1,954,627	△ 348,627	121.7%	広告料収入	(2)広告料収入
3,904,550	△ 140,550	103.7%	プラザ自動販売機手数料、観光案内所手数料 等	(3)手数料収入
1,498,500	22,500	98.5%	ねりま塾参加料 等	(4)受講料収入
2,407,493	△ 407,493	120.4%	ねり丸グッズ等売上金	(5)物品販売収入
966,927	△ 545,927	229.7%	ねりま塾協賛金 等	(6)雑収入
5,584,800	950,200	85.5%	退職給与積立金等基金取崩	4 特定預金取崩収入
3,963,300	700	100.0%	練馬区観光協会からの寄付金	5 寄付金収入
627,370,217	8,871,783	98.6%		当期収入合計(A)
6,567,463	537	100.0%	平成28年度決算の確定による	前期繰越収支差額(B)
633,937,680	8,872,320	98.6%		収入合計(C)

【支出】

科 目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額
1 事業費	515,356,000	△ 40,550,000	0	474,806,000
(1)共済事業費	273,061,000	△ 38,500,000	555,000	235,116,000
①生活充実事業費	100,132,000	△ 4,500,000	439,000	96,071,000
②健康増進事業費	35,361,000	△ 2,000,000	△ 126,000	33,235,000
③自己啓発事業費	44,920,000	△ 6,000,000	401,000	39,321,000
④余暇活動事業費	76,434,000	△ 25,000,000	803,000	52,237,000
⑤共済事業運営費	16,214,000	△ 1,000,000	△ 962,000	14,252,000
(2)ビジネスサポートセンター費	92,007,000	△ 4,660,000	0	87,347,000
①経営相談事業費	15,070,000	△ 2,150,000	0	12,920,000
②中小企業支援事業費	76,937,000	△ 2,510,000	0	74,427,000
(3)観光振興費	54,425,000	0	0	54,425,000
①観光事業推進費	25,433,000	0	0	25,433,000
②観光案内所運営費	28,992,000	0	0	28,992,000
(4)区民・産業プラザ維持運営費	75,282,000	2,610,000	0	77,892,000
①施設運営費	20,805,000	△ 530,000		20,275,000
②施設維持管理費	54,477,000	3,140,000		57,617,000
(5)受託事業費	20,581,000	0	△ 555,000	20,026,000
①いきいき健康事業費	20,581,000	0	△ 555,000	20,026,000
2 管理費	161,374,000	△ 4,020,000	0	157,354,000
(1)人件費	119,616,000	△ 6,050,000	0	113,566,000
①報酬	12,641,000		77,000	12,718,000
②給与	88,260,000	△ 3,660,000	△ 28,000	84,572,000
③共済費	18,715,000	△ 2,390,000	△ 49,000	16,276,000
(2)運営費	41,758,000	△ 970,000	0	40,788,000
①役員報酬等	676,000		△ 240,000	436,000
②健康診断料	335,000		△ 100,000	235,000
③旅費・研修費	187,000		50,000	237,000
④消耗品費	539,000		364,000	903,000
⑤印刷製本費	54,000		371,000	425,000
⑥光熱水費	576,000			576,000
⑦通信運搬費	3,146,000		△ 548,000	2,598,000
⑧手数料	2,023,000		△ 207,000	1,816,000
⑨委託料	13,926,000			13,926,000
⑩使用料および賃借料	336,000			336,000
⑪システム経費	14,575,000		△ 659,000	13,916,000
⑫備品費	0		829,000	829,000
⑬租税公課費	5,022,000	△ 970,000	18,000	4,070,000
⑭諸費	363,000		122,000	485,000
(3)退職金	0	3,000,000	0	3,000,000
3 特定預金支出	0	10,650,000		10,650,000
当期支出合計(D)	676,730,000	△ 33,920,000	0	642,810,000
当期収支差額(A)-(D)	-	-	-	-
次期繰越収支差額(C)-(D)	-	-	-	-

(単位=円)

支出済額	差 異	執行率	説 明	科 目
470,537,873	4,268,127	99.1%		1 事業費
235,112,399	3,601	100.0%		(1)共済事業費
96,070,457	543	100.0%	給付金、区内共通商品券 等	①生活充実事業費
33,234,280	720	100.0%	日帰り温泉チケット、練馬区スポーツ施設利用カード 等	②健康増進事業費
39,320,664	336	100.0%	観劇・展覧会チケット、映画鑑賞券 等	③自己啓発事業費
52,236,991	9	100.0%	トラベル利用補助、遊園地フリーパス、等	④余暇活動事業費
14,250,007	1,993	100.0%	会報等発行費・会員加入促進費 等	⑤共済事業運営費
85,107,417	2,239,583	97.4%		(2)ビジネスサポートセンター費
12,694,879	225,121	98.3%	各種相談事業費 等	①経営相談事業費
72,412,538	2,014,462	97.3%	起業セミナー等運営費、空き店舗補助 等	②中小企業支援事業費
54,032,350	392,650	99.3%		(3)観光振興費
25,118,518	314,482	98.8%	観光事業費、ホームページ事業費 等	①観光事業推進費
28,913,832	78,168	99.7%	観光案内所運営委託料 等	②観光案内所運営費
77,546,580	345,420	99.6%		(4)区民・産業プラザ維持運営費
20,161,531	113,469	99.4%	窓口業務委託料 等	①施設運営費
57,385,049	231,951	99.6%	清掃衛生費、光熱水費、設備保守費 等	②施設維持管理費
18,739,127	1,286,873	93.6%		(5)受託事業費
18,739,127	1,286,873	93.6%	練馬区から受託する事業費	①いきいき健康事業費
152,201,110	5,152,890	96.7%		2 管理費
108,631,901	4,934,099	95.7%		(1)人件費
12,717,338	662	100.0%	理事長報酬 等	①報酬
79,746,880	4,825,120	94.3%	職員給与 等	②給与
16,167,683	108,317	99.3%	職員社会保険料 等	③共済費
40,569,409	218,591	99.5%		(2)運営費
426,000	10,000	97.7%	役員報酬 等	①役員報酬等
234,159	841	99.6%	定期健康診断料	②健康診断料
236,285	715	99.7%	職員旅費・職員研修費	③旅費・研修費
902,971	29	100.0%	パソコン・プリンター消耗品 等	④消耗品費
424,764	236	99.9%	封筒作成費 等	⑤印刷製本費
428,226	147,774	74.3%	電気・水道料金	⑥光熱水費
2,596,721	1,279	100.0%	電話料、後納郵便料 等	⑦通信運搬費
1,814,449	1,551	99.9%	振込手数料、会費口座振替手数料 等	⑧手数料
13,919,591	6,409	100.0%	窓口業務委託料、税務会計相談委託料 等	⑨委託料
335,664	336	99.9%	倉庫賃借料	⑩使用料および賃借料
13,910,209	5,791	100.0%	システムリース料・保守料 等	⑪システム経費
828,150	850	99.9%	什器備品購入費	⑫備品費
4,027,240	42,760	98.9%	消費税納付額、登記印紙 等	⑬租税公課費
484,980	20	100.0%	会議費、広告宣伝費 等	⑭諸費
2,999,800	200	100.0%		(3)退職金
10,578,116	71,884	99.3%	事業運営基金等積立	3 特定預金支出
633,317,099	9,492,901	98.5%		当期支出合計(D)
△ 5,946,882	-	-		当期収支差額(A)-(D)
620,581	-	-		次期繰越収支差額(C)-(D)

平成29年度収支計算書について

【 決算規模 】

収入総額は6億3,393万円で、支出総額は6億3,331万円となり、収支差額は62万円となりました。

前年度に比べて、収入総額は5,287万円、9.1%、支出総額は5,881万円、10.2%と大幅な増となりました。これは、主として、平成29年度に練馬区から新たに観光振興事業の移管を受けたことにより、収入、支出とも増加したためです。

一方で、収支差額は62万円で、前年度より594万円の減となりました。これは、共済事業に係る収入が、支出以上に減となったことによります。

【 収 入 】

- 1 事業収入は3億5,493万円で、前年度より4,383万円の減となりました。
これは(1)共済事業収入が、としまえんフリーパス券の値上げによる販売収入の減少があったため、2億2,433万円で、前年度より4,044万円の減となったことによります。予算は、補正予算において減額しています。
(2)指定管理業務収入では、開館以来続けて伸びてきた区民・産業プラザの利用料金収入が、3,116万円となり、初めて前年度を下回って114万円の減となりました。
- 2 補助金収入は2億5,177万円で、前年度より8,078万円増加しました。
これは(1)区補助金収入が、観光振興事業の移管を受けたことにより増加したためです。
- 3 特定預金取崩収入は558万円で、退職給与積立預金から300万円、事業運営基金から258万円を取り崩しました。
- 4 寄付金収入は396万円で、(一社)練馬区観光協会から、同協会の解散に伴う残余財産を、当公社が受領したものです。

【 支 出 】

- 1 事業費は4億7,053万円で、前年度より、3,881万円増加しました。
(1)共済事業費は、2億3,511万円で、前年度より2,292万円の減となりましたが、これは、共済事業収入が減となった理由と同様、としまえんフリーパス券の値上げによる販売数の減少が主な理由です。予算は、補正予算において減額しています。
(3)観光振興費は、平成29年度から事業の移管を受けて新規に計上した経費で、5,403万円でした。
- 2 管理費は1億5,220万円で、前年度より2,107万円の増となりました。
これは主として、(1)人件費が、1億863万円で、新たに移管を受けた観光事業の実施体制を整備したことおよびビジネスサポートセンターの相談体制の強化を図ったため、1,812万円の増となったことによります。

3 特定預金支出は、将来への資金需要に対応するため、前年度繰越金などを事業運営基金等に積み立てたもので、執行額は、1,057 万円となりました。

【 特定基金の積立と預託 】

1 事業運営基金の積立

安定した事業執行、および臨時的な事業実施のために、決算剰余金の一部を積み立てています。

①平成 29 年度末現在高	149,759,958 円
②平成 28 年度末現在高	140,227,666 円
③平成 27 年度末 〃	129,599,480 円

2 退職給与積立預金の積立

職員の退職手当の引当金として積み立てており、特定預金支出として、毎年100万円程度を積み立てています。

①平成 29 年度末現在高	20,403,849 円
②平成 28 年度末現在高	22,357,825 円
③平成 27 年度末 〃	21,348,020 円

3 特定預金の預託

特定預金の預託については、確実かつ安全であること、金利面で有利であること、資金として流動的であることを基本に、預金保護制度などを考慮して、預託先、預託金額を決めています。

現在の預託先は、ゆうちょ銀行、東京あおば農業協同組合、西京信用金庫、巢鴨信用金庫、大和ネクスト銀行、大和証券です。

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲については、現金・預金、未収金、前払金、未払金、前受金、預り金を含めることとしている。

なお、下表の当期末残高には、収支状況を勘案して、特定預金取崩収入のうち平成30年度に取り崩した額、2,585,000円を算入している。

前期末および当期末残高は下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容

次期繰越収支差額の内容は、つぎのとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	63,707,617	61,750,299
未収金	2,302,326	2,969,746
特定預金取崩収入未収金	0	2,585,000
前払金	894,780	346,245
合 計	66,904,723	67,651,290
未払金	47,208,965	54,691,833
前受金	12,618,750	11,881,400
預り金	509,545	457,476
合 計	60,337,260	67,030,709
次期繰越収支差額	6,567,463	620,581